

**ツベルクリン反応検査
及びBCG接種**

☎ 保健女性センター 64-8992

と き 1月17日～3月14日(ツベルクリン接種2日後に判定とBCG接種)
対 象 生後3か月～4歳未満の乳幼児
◎水ぼうそう、おたふく風邪、はしか、風しんにかかって6週間後、またはその予防接種を受けて4週間たっていないと受けられません。
◎詳しくは健康カレンダーをごらんください。

血管いきいき教室

☎ 保健女性センター 64-8993

と き 1月25日、2月1日・15日
各木曜日 9:30～11:40
個別相談 2月21日(水) (1人40分程度)
内 容 血管の若さを保つための生活や食事、効果的な運動についての話など
対 象 血圧・血清脂質の値に改善の必要な69歳以下の人
定 員 20人
申し込み 電話で保健女性センターへ

危険物取扱者試験

☎ 消防本部予防課 内線 3213

と き 2月18日(日)
○丙種 10:00～11:45
○乙種第4類 10:00～12:00
と ころ 吉原第一中学校
申し込み 1月12日～17日に消防本部予防課にある申込用紙に必要事項を記入し、直接または郵送で、〒420-0034 静岡市常磐町1-4-11 (財)消防試験研究センター静岡支部へ ☎054-271-7140

手話初級講座

☎ 生きがい福祉課 内線 2324

と き 1月15日～3月5日 毎週月曜日(2月12日は除く)
10:00～11:45 計7回
と ころ 青少年センター
対 象 市内在住・在勤の人
定 員 50人 受講料 無料
申し込み 12月28日までに電話で生きがい福祉課へ(応募者多数の場合は抽せん)

糖尿病予防教室

☎ 保健女性センター 64-8993

と き 1月15日・22日・29日、2月5日・13日・19日・26日、3月5日 各月曜日(2月13日は火曜日) 13:30～15:30(2月26日は時間指定、3月5日は9:15～12:30) 計8回
と ころ 保健女性センター
内 容 ●医師の話「糖尿病とは」
●食事療法の基礎、バランス食と外食の注意など ●運動療法の話と実技 ●個別健康相談 ●調理実習
対 象 血糖値が高く、改善の必要がある70歳未満の人やその家族、血糖値の高い血縁者がいる人
定 員 20人(先着順)
申し込み 12月19日から受け付けます。電話で保健女性センターへ

**テレホンカード
「花と富士山シリーズ(第7弾)」発売**

☎ 施設利用振興公社 35-0685

発売日 12月20日(水)
販売枚数 485枚限定(1枚600円50度数)
販売場所 富士市民センター、市立富士体育館、ラ・ホール 富士、温水プール、陸上競技場



保留地(宅地)を公売します

☎ 区画整理課 内線 2431

富士市四丁河原土地区画整理組合では、保留地(宅地)を公売しています。

No.	地 積	売却価格
1	160.42m ² (48.52坪)	1,973万1,660円
2	162.41m ² (49.12坪)	1,997万6,430円
3	196.62m ² (59.47坪)	2,418万4,260円
4	196.54m ² (59.45坪)	2,417万4,420円
5	168.57m ² (50.99坪)	2,005万9,830円

対 象 個人、法人(利益目的で土地の転売または貸し付けをしようとする人などは除く)
公売の方法 随意契約方式(先着順)
申し込み 月～金曜日(祝日除く)の8:30～17:00に直接区画整理課へ

～日曜納税・年金相談～

と き 12月17日(日) 9:00～16:00 ところ 市役所
★収 税 課 (3階) …市・県民税、固定資産税の納付について
★国民健康保険課 (3階) …国民健康保険税の納付について
★国民年金課 (2階) …国民年金について

問い合わせ 収税課 内線2365、国民健康保険課 内線2343、国民年金課 内線2264

環境シリーズ No.31

12月は地球温暖化防止月間です

1. 地球温暖化とは

大気中の二酸化炭素(CO₂)やメタンなどの温室効果ガスが太陽からの熱を吸収することにより、地球の温度は15℃程度に保たれてきました。しかし、現在温室効果ガスの増加による地球温暖化が問題になっています。

2. 私たちの生活と地球温暖化の関係

家庭で使う電気の発電のために石油を燃やす、各家庭でガスなどを燃やす、自動車を運転してガソリンを燃やすといっ

たことから多くのCO₂が発生しています。ほかにも、CO₂はふだん何げなく使っている製品にも深く関係しています。

その製造、流通、廃棄の各段階でCO₂が多量に発生するからです。例えば、ティッシュペーパーの場合、原材料を海外から運び、工場製品化し、各家庭に運ばれ、最後はごみとして排出されます。これらのすべての過程において多くのエネルギーが使用され、多くのCO₂が発生しています。こうして、間接的に排出されるCO₂を含めると、日本で排出されるCO₂の約47.5%は家庭生活に関係していると言われています。

3. 私たちにできること

それでは、CO₂を減らすために私たちに何ができるのでしょうか。例えば、
・暖房の設定温度を22℃から20℃にする → 1年間で19.2kgの削減
・テレビを見ないときには主電源をOFFにする → 1年間で2.2kgの削減
このほか、不要なものは買わない、買ったものは大切に使う、資源ごみはリサイクルに出すなどいろいろとあります。地球温暖化防止のために、一人一人ができることから始めましょう。

問い合わせ 環境保全課 内線2074